

常磐新報

日一十三月一
刊日
本報社 常磐新聞社
發行所 常磐新聞社
電話 六二〇〇
印刷所 常磐印刷株式会社

十六羅漢の話

真繼 雲山

第三の不還向、不還果といふのは還り来らずであつて段々の修行のお蔭により見事に一切の惑を断じつゝし、最早や引かるべき何等の業障もなきゆゑ再び娑婆へは還つて来ないといふ生死の流轉を断ち切つた位である。

私たちは迷ふてゐるからこそ娑婆が戀しうてならぬどうでも死なねばならぬといふことなら、セメテ今一度生れて来たい様と慾なことを考へてゐるのであるがしかし何度生れて来ても必ず又死なねばならぬのであるから、悟つて見ればまことに七面倒な話になる、むしろ不還の果を證して生死永く亡び、大患とこしなへに滅するに如かぬのである

さてこの不還の果を證したものが、初めて第四の阿羅漢向に入り阿羅漢果を證するのである。普通に羅漢といつてゐるのは阿羅漢の略語である。羅漢とは梵語、譯して「生」となる、阿の字は否定詞であるから、阿羅漢といへば不生または無生の義となる。不生無相を悟つたのが阿羅漢果であつて、韋提希夫人

が王舎大城の牢中に證したといふ無生法忍と同義である。韋提希夫人は無量壽無量光に照らされて、一化の肉身もと是れ無生の法なりと顯然直觀したのであるが、羅かん様の方は段々の修行の功によりて不還無生を自ら悟るのである。死にとむない、今一度生れて来たいといふ慾求と姿

【朝】卯の花汁—卯の花
むきみねぎ 油揚
【晝】蒸肴—かれい鹽むし
人參あちやら煮
【晚】ごまみそかけ—甘藷
ごまみそ掛

ノート

この家庭でも瓶を立て、戸だなやたなに置きますが少し永く保存する時は日光の當らぬ風通しのよい場所に瓶をさかさに立て、置きますと永く気が抜けません

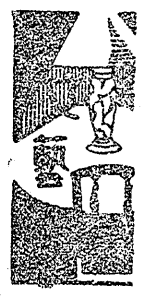
修行の功によりて不還無生を自ら悟るのである。

死にとむない、今一度生れて来たいといふ慾求と姿

【明日の献立】
【朝】卯の花汁—卯の花
むきみねぎ 油揚
【晝】蒸肴—かれい鹽むし
人參あちやら煮
【晚】ごまみそかけ—甘藷
ごまみそ掛

婆は七面倒だ、二度と生れて来るのは直つ平御免といふのはまことに天地雲泥の差がある、下界の凡夫は先づ人天の欲求の世界を謝して、不生不滅の四聖の位に轉出せねばならぬ。

但し阿羅かんは斯くして四向四果の最上位にありといふといへども、四聖中の最下位に属するものであつて、これよりして刻苦修行の功により縁覺となり菩薩となり佛となつて七生報國娑婆八千遍の往還により無邊の衆生を化度すべき前途を有するものなること言ふまでもない。



常磐歌壇

白山望東子

久しぶり涙と云ふを味へぬ
淋しき我に快よき感じ
遠き山かすむを大觀の繪の
如しといへど相手は答へじ
わびし空を染め地を染むる
夕やけのそのあなたに未だ
こもるらし
人の世の夢明るさと云ふこ
とばさい失ひて三日笑ます
今日も過ぎにきいねこき機
あたりひびけと田舎路は
静かなりけり月も動かじ

セメント

磐城セメント株式会社
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
代理店 西村屋薬舗
平町二丁目 電話三

金銀高價買入

根本時計店
電話六〇七番
平町二丁目(三幸堂跡)

節分豆まき會

二月三日(舊正月九日午後一時)
一場所 縣社子銀倉神社
一歳男 各町の世話人又は事務所(平町紺屋町柳下方)迄に申込まれたし
會費廿錢(福豆及び神札呈上)
主催 福和内會

久山團扇店

本年のウチワ・扇子は諸掛のかゝる外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ! 是非一度御用命を
平乙女の腕で出來上る町産品
店扇團久山
前局町屋紺平
番九〇四(呼)話電
庫在富豐器子硝壘子菓
一タスポ・一ダンレカ

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

旭屋衣裳店

三丁目通
吉例の二日衣裳市場開設致しました處空前の御評判を戴きまして誠に有難く御禮申し上げます。就ましては今後とも衣襖部、質部共に引續いて懸命の努力致す考へて御座いますから何卒御引立の程幾重にも御願ひ致します。
【電話四二五番】

安齊外科醫院

平町田町
電話四七五番

御料理 八千代

平町田町 電話三七五番

久益屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

投書に答ふ

川崎 生

日本本社に對して「最高の權威ある貴社の御盡力を渴望する」と、最大級の嬌文句に依つて書き起した、多々しい投書が舞ひ込んだ、細かいペン字で三枚の用箋を埋めて居るが、時節柄にふれて居るからその要點を左に摘記する

一、過日の凱旋兵歡迎會で勳功者老廢兵の貴き存在を無視して擧式プログラムに掲げなかつた理由

二、青年團や消防組の後に一老兵の申出あつたに拘らず平婦人團代表が先に祝辭を朗讀して申出を後廻しにしたのは不謹慎である

三、酷暑零下卅度の曠野に展戦する同胞を想へば歡迎會で藝妓の手踊等をさせて居る時でない

四、凱旋兵や出征兵の歡送迎に紛飾を施した女子青年團員にエロサーピスをさせるとは何事ぞと云ふにあらうし、そして役場員や有志に對し非常時日本に處する覺悟を促して貰ひ度いと本紙に注文を付けて居る折角の注文だか自分は投書者と少々所見を異にして居るから其點を先づ述べて見やう

一、擧式プログラムに老廢兵の祝辭を求むべく掲せなかつた事は事實である、而し掲げなかつたからといふて司會者が存

を無視したといふ理屈にはならない、然も老廢兵も在郷軍人分會に包含されて居る一員であり同分會からは藤田會長が代表した以上、無視したとは考へられべきでない、いはんや當日司會者側からプロ掲出以外の有志にも祝辭を求めて居るのであるから若し違ふべき祝辭があつたら木澤氏の如く堂々と登壇すればよいではないか

二、一老兵より前に婦人團代表が祝辭を朗讀したのはプログラム順序に從つたものであり、然も婦人團代表が主催者の一員である責任上から見ても當然斯くあるべき事が自然で少しも不思議がない、是れを自して不謹慎呼ばはりは解せぬ質問である

三、歡迎會に藝妓の手踊が惡いとは極端過ぎる、それでは酒を飲む事もどういふものだ、極端に考へたら凱旋祝賀會も開けぬ事になる、お説の通り滿洲の曠野に奮闘する勇士の勞苦は實に察するに餘りある、故にこそ、此勞苦を嘗めて國の爲めに働いてくれた凱旋勇士の勞を痛ふべく少しでも盛んならしめたいと藝妓の手踊を加へた事は司會者として寧ろよい思ひ付きであつたと思ふ、投書者の文面から見ると此席に藝妓が顔を出した事が面白くなかつたのらしいが

藝妓にしろ誰れにしろ凱旋兵を迎える至情に變りがない、こんな處に妙な階級意識を働かせべき筋合のものではなからう

四、女子團員が兵士にエロサーピスしたかどうか一体エロサーピスなる見解は何處に基點を置くのか解らないが、貴女の云はる、如く粉飾を施した點が惡いとすれば、其粉飾も兵士の眼を樂しませたい眞情の發露として敢て答むべきではなく寧ろ其の衷情嘉すべきではなからうか

反感を抱く者の仕業である事が一目瞭然である、自分は廿年近く新聞編輯に従事し此間幾度となく投書類を手にして居る體驗上、投書者の何人であるかは大抵見當がつく、今度の投書も大體目星はついて居るが自分の無理な野心を果さんとし、他人を陥入らしめて自己は満足を求めやうとする心情は甚だ心得違ひで、夫れは結局自分の墓穴をうがつ愚策なのである、世間には眼がある、そんなケチな見聞を起して變名の投書等を爲さずに自分の顔のシワでも數へて反省すべしと申さねばならぬ

平町酒商組合が 店員慰安に 毎月一回公休

平町酒類商組合では是程總會を開き協議の結果使用店員慰安の爲め毎月廿日を公休とする事を決定し尙ほ酒

價を左の如く協定した
(一等酒)一圓五十錢(二等酒)一圓二十錢(三等酒)一圓

伏見前町長が 縣地方課囑託

二月二日出發赴任
に任命され來月二日午前九時平驛發列車にて縣廳入りをする事になつたので青沼町長及び井上茂作氏其他が發起となり明一日午後五時

強豪を目指して 卓球ファン熱狂

東北大會期待さる

平卓球協會主催第二回關東北卓球チーム大會は來月十九日午前九時より平第三小學校講堂に開催されるが同大會は三人制チームの試合で前年の優勝チーム仙臺卓球協會を目標して仙臺商業日立チーム、福島高商、福島電燈の強豪の外地元チームの雄平卓球チーム、常磐銀行等よりも出場し卅組以上を達する模様なので各地の卓球ファンより期待されて居るが出場希望チームは來月十七日迄に平町大塚運動具店に申込まれたといふ

工費五萬圓を投じ 小名濱役場を新築

現在の建物は警部補派出所

石城郡小名濱町では本日午前十時より町會を開會し前町長鈴木榮氏の慰勞金贈呈の件及び現在の役場狹隘のしたと

模擬購買組合が 大人も及ばぬ執務振り

大野校の試み

石城郡大野村小學校では兒童に購買組合の智識を興へる爲め去る廿九日より上級生徒の希望者に校内に模擬購買組合を設置せしめ全校生徒を組合員として學用品の販賣を開始したが賣上や執務振りが大人も及ばぬ好成绩である

青訓査閲

平町が飯野と聯合して執行

平青年訓練所の査閲は來る二月十二日午前八時より飯野村小學校に於て同村青年訓練所と共に執行されると

操作査定

警中の會議

警城中學校にては各學年に對し左の如く操作査定會議を開くと
二月三日(三年)六日(四年)七日(二年)八日(一年)九日(五年)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

市原醫院
平町 田町
電話一一四番

看護婦急派
の求めに應
じます

平看護婦會
電話三〇七番

崩壊止まらず

夏井川沿岸の

四ヶ村が陳情

石城郡夏井川沿岸に平窪村大澤地内山林は現に三十餘町歩の崩壊あり農作用水路の埋没其他の被害を蒙つて居るので既記の如く縣工事として八萬圓の砂防工事起工すべく谷村技手が調査中であるが沿岸一帯の山林は未だ崩壊を續ける有様なので砂防工事の急施方に就いて本日小川白井菊造、赤井松本金次、平窪草野常彌、神谷片寄爲藏の四村長は連署の陳情書を知事宛に提出した

母子心中を

企てた母親の公判

陪審裁判を辭退

平町立町居住日雇業相馬賢次郎内縁の妻佐藤ステ(三三)に對する殺人事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係り淺野書記立會の下に取調中の處有罪と決定本日陪審裁判を辭退したので近日中島裁判長係り關口、竹内兩判事陪席小林檢察立會の下に公判開廷される事になつたが事件の内容は
夫との間に長男克己(七)及び長女千代(三)の二子を

凱旋兵のお土産

喜ぶ第二校の生徒

平町出身の凱旋兵六丁目川上龍三郎、田町大島熊一、四丁目志賀豊晴の三君は此程第二小學校に對し教育參

消防組頭

後任推薦

小名濱松本氏

既報石城郡小名濱町消防組頭の後任は種々の経緯あつたが結局本紙處報の通り町議松本徳次郎氏に内交渉中の處此程同氏の快諾を得て

殺人強盜犯

合戸村で捕ふ

新瀨縣北蒲原郡小幡村字浦野強盜強盜四犯長谷川寅(四)は新瀨縣下に於いて殺人強盜を冒して逃亡し石城郡下に入り込んだ處を今朝平署柏木刑事が合戸村にて逮捕した

旅の途中に

妻に逃げられ

二兒を連れてルンペン

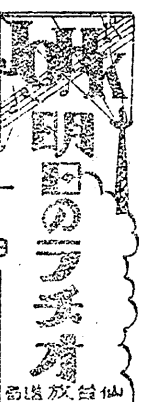
平町役場へ本日午前十時頃職工風の男が子供二名を連れて旅費の貸與を願出たので係員が事情を聞くと北海

辨才天の賽銭泥

子供に發見さる

郡内を荒した老盜賊

石城郡豊間村沼ノ内辨才天の境内で去る廿九日午後二時頃一名の老人が賽銭泥を働かんとしたのを附近に遊んで居た子供が発見駐在所員に取押されたが同人は耶



今晚も明日も北西の風晴れ曇り相半

明日の部

今晚の部
後六〇〇 子供の時間
ラヂオドラマ「萬年筆」東京放送児童劇協會
後七三〇 今昔活動寫大
直ちに其筋に推薦したと

平第二校の針供養

裁縫室に御馳走山程

平第二小學校にては來る二月八日に針供養を催すが當日は生徒等の家事實習に依つて作つた御馳走を皆んなで楽しく食ふながら裁縫室に座談會を開く外低學年に對しては童話會を催すと

空巢荒し

悠々と盗む

石城郡飯野村字南白土居住農山崎貞次郎方で昨卅日午後一時頃一家の者が正月休みに平町へ出掛けた留守中何者か忍入り食事をした揚句衣類數點を窃取逃走した届出により目下平署で犯人嚴探中

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 五十才以下 月五
△ 委細面談(神谷村某)
△ 雜夫 二十六才 尋卒
△ 雜夫 二十五才 尋卒

印刷御用命は總て
常警日印刷株式會社
電話三六〇番

裁縫室に御馳走山程
月八圓位(茨城縣某)
△自動車助手 十七才 尋
△ 仕着小遣(平町某)
△ 回職を求める方
△ 自動車運轉手 二十七才 高卒 給料面談(平町某)
△ 女中 五十一才 尋卒 給料面談(平町某)
△ 商店雜役 三十三才 高卒 給料面談(平町某)
△ 菓子工見習 十八才 高卒 給料面談(平町某)

義経

【禁演上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

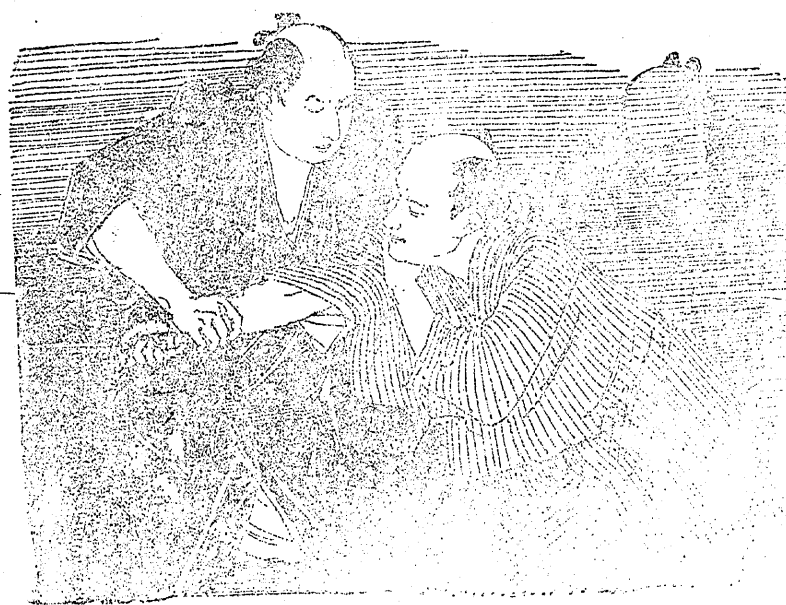
第二百五十五席 千葉周作

友藏佐吉に捕はる

友藏は馬藤の話すを聞いて

友「勢力を殺したは残念だが、しかし勢力一人では助五郎を殺すことは出来ぬ、無理なことをするからあんな死にやうをする、時節を待つて人数を集め助五郎の油断をしてゐるところへ押しつけば親分の怨みを晴らすことも出来たであらう、助五郎は運が好い、火なら燃えてゐるところだ、そこへ勢力一人で飛込んだところでこの燃えてゐる火を踏み消すことは、出来なからう」

藤「そいつは理屈だね、しかしお前さんは運が好いや金のある姐御と夫婦になり店は繁昌して居るし、博奕では儲ける、とは云へい、あとは悪いといふことがあつた、唐の奴はいふことがあつた、このあつたは悪いことがあつた、と云つて泣くさうだ、お前さんも氣をつけなければ叶けぬ、吉のあつたは凶だから、氣のせいかな、何だか凶の方に近付いて来た様な心持がする」
友「不縁起なことを云ふな、向ふに灯の見えるは中庭の



渡船か
藤「さうらしいぜ、ア、寒いからこの土手は一人も通らぬ、南無阿彌陀佛々々々々々、追々凶に近付いて来た」
と話しながら渡船場を距ること

半丁
あまり手前に来た時に土手下から駈上つた一人の男、友藏の行手をふさぎ
○「待て、ヤイ友、待て」と言はれて
友「誰だ俺を呼ぶのは、これ馬藤こんな奴が飛出したぞ」

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

友「兄い、まあ待つてくれ、これはおればかり悪いと思つてゐたんだと、凶に出遭つてしまつた、オ、イ友藏兄い、へ出たはお前と馴染の人だ」
友「誰だ」
と訊いた時に前に立つてゐた其人がバラリと冠りし手拭を取り
○「友藏、主は俺を忘れたか」
友「誰だ、オウ清瀧の兄貴か」
佐「佐吉だ、コレ友藏汝は親分の恩を忘れて姐御をだまして國を立ち退いたな、

始年

品答贈御

産名城磐

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮盛二賀丁志
番三一電目平

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町
電一〇七

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

旭硝子株式會社製品

赤菱印

板ガラス

硝子食器

其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)

支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

ヒビ、シモヤケ、ハタケ
ヤケド、キリキズ、タム

子宮病、根切藥、下腹や
腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ

たんばあめ

うまくてセキがヨクトマ

靈藥ムテキ

ユビハレ、ヤケド、キリ
キズ、淋病、梅毒、乳ハ
レ、スベテ化膿したもの
を切らずに癒る

阿康藥舖

平町古鍛冶町一〇

縣社ノ下 電四四番